

Q: 指認証が読み取りにくく、認証に失敗してしまいます。良い対策はありますか？

A: 以下の2通りの対策があります。

指情報を再登録する

認証しにくい方は、初回の登録で適切なテンプレートが撮影できていない場合がほとんどです。

初回の登録時に、精度の低いテンプレートが作成されると、その後の認証も失敗する可能性が高くなります。

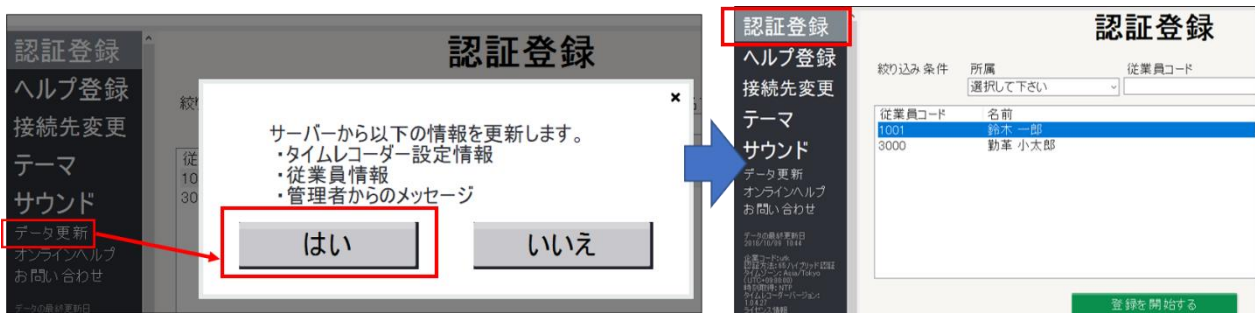
設定 > 従業員 > [従業員設定] > [表示] をクリック

対象者の [編集] > タイムレコーダー情報「○○登録状態」: [○○登録削除] をクリック > [削除]



上記手順より、現在の登録情報を削除することができます。

その後、タイムレコーダー画面 > 設定 > 「データ更新」で更新（またはタイムレコーダー再起動）し、「認証登録」メニューより改めて登録してください。



指紋認証のコツ

面積が大きく、荒れていない指が望ましいため親指や中指が適しています。

また、乾燥や冷えは認証率低下の原因となります。十分に温めてください。

認証面を覆い隠すくらい密着させたら、すぐに離さずゆっくり2秒くらい待ちましょう。

初回登録時、合計4回撮影を行ないますが、4回ともできるだけ同じような状態で登録を行なうと、精度の高いテンプレートが作成され、認証率の改善が期待できます。

静脈認証のコツ

細すぎず、長い指が望ましいため中指が適しています。

登録・認証において最も重要なことは、『指をまっすぐ、水平に入れる』ことです。

手が冷えている場合は、手を2.3回拍手のように叩いてください。

収縮していた筋肉が伸び、血流量が上がることで改善する場合があります。

初回登録時、合計3回撮影を求められますが、抜き差しを行う必要は必ずしもございません。

指を正しく固定したら、入れたまま [OK] ボタンを3回クリックしていただくと、認証率の改善が期待できます。

ハイブリッド認証のコツ

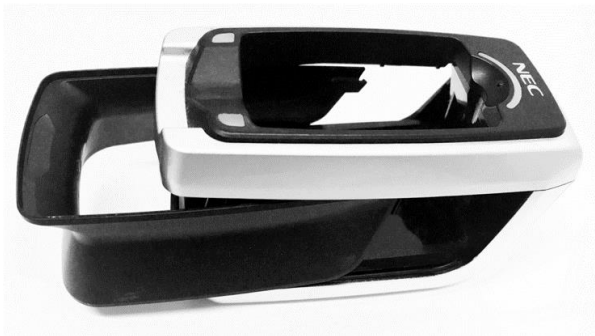
細すぎず、長い指が望ましいため中指が適しています。

登録・認証時には、センサー部と平行になるように置き、指を反らさないようにしてください。

認証機器の中が埃などで汚れている場合は、認証しづらくなる場合があります。

乾いた布等で内部を拭いてください。

初回登録時、合計3回撮影を行ないますが、3回ともできるだけ同じような状態で登録を行なうと、精度の高いテンプレートが作成され、認証率の改善が期待できます。



水平に引くと外れるようになっています。

認証レベルを下げる

再登録でも改善されない場合に有効です。

認証レベルを変更することにより、認証精度の変更が可能です。

設定 > 組織 > [タイムレコーダー設定] > 基本タイムレコーダー設定、または対象所属の [編集] > 動作設定「認証レベル」



動作設定

認証デバイス: 65:ハイブリッド認証

認証レベル: 中

下記、デフォルト値となります。

- ・指紋認証：「高」
- ・静脈認証：「中」
- ・ハイブリッド認証：「中」

認証レベルを低くし [登録] してください。

次に、タイムレコーダー画面の [設定] > 「データ更新」でリロードし、打刻をお試しください。

認証レベルを低くすることにより、他人許容（他の人として認証されてしまうこと）が起こる可能性は高くなります。